

介護スキル向上 研修会通し学ぶ

那覇市で中森さん指導

介護スキルの向上を図る
研修会(主催・県介護福祉
士会)が7日、那覇市内で
あった。約60人が参加し、
鹿児島医療福祉専門学校の



中森美恵子氏Ⅱ写真Ⅱが、
利用者と信頼関係をつくる
ためのコミュニケーション
のこつを指導した。

「緊張して体がこわばっ
ている利用者に対し、行動
を促す声掛けを繰り返す」
「力任せに動かそうとする」
など業務の中でやってしま
いがちな対応について、声
掛けや安全な介助の仕方を
実践で披露した。

中森氏は「強くつかまな
い」「相手だけを動かそう
とするのではなく自分も一
緒に動く」といった具体的

な手法を紹介。「介助者の
スキルによって相手の緊張
感が変わる。声掛けと触り
方などを気遣って」と呼び
掛けた。

日常会話では、時間や行
動の理由、季節などを盛り
込んだ声掛けをすることを
勧めた。その上で、感情と
丁寧に向き合うことの大切
さを説き「相手の世界に歩
み寄る努力と、介護のプロ
として自分の感情をどう表
すかを決め、行動すること
を心掛けてほしい」と提言
した。